

九条の会

2007・5・28

第 87 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303
TEL 03-3221-5075
FAX 03-3221-5076

11 月 24 日に東京で第 2 回全国交流集会

成功へ、「九条の会」がアピール

「九条の会」は 11 月 24 日に第 2 回全国交流集会を開きます。その全国集会に向けて 5 月 26 日、「九条の会」はアピール「新たな運動の高まりの上に全国交流集会の成功を」(別項)を発表しました。

これを受けて 6 月 11 日には、東京の各地域の「会」、神奈川、千葉の県の「会」によびかけて第 1 回実行委員会を発足させることになっています。

「九条の会・ちばけん」発足

県下各地・各分野の「会」が 300 近くとなり、活動の交流についての要望が強まるなかで、その要望に応えようと「九条の会・ちばけん」の発足のつどいが 5 月 27 日に開かれ、会場をあふれる 300 人余が参加しました。

つどいでは第 1 部で作家の早乙女勝元さんが「憲法九条の伝書鳩に——ある作家の体験から」と題して講演、東京大空襲の悲惨さや世界に広がる 9 条の思想などについて語りました。

第 2 部では情勢報告、経過報告がおこな

当面の行動計画

◇「九条の会」学習会

—安倍内閣と集団的自衛権問題—

- ・とき 6 月 9 日(土) 13 時 30 分
- ・ところ 東京・一橋日本教育会館 8 階
- ・挨拶 三木睦子(九条の会呼びかけ人)
お話 渡辺 治(一橋大学教授)
- ・参加費 800 円

◇第 2 回全国交流集会の成功をめざす 第 1 回実行委員会

- ・とき 6 月 11 日 18 時 30 分
- ・ところ 文京区シビックセンター 4 F
- ・よびかけ対象 東京の地域の「会」、神奈川・千葉の県の「会」

われました。このなかで準備会事務局から「九条の会・ちばけん」の基本的性格について、県下の地域・分野の「会」の運動の交流をはかるものとするのが提案されました。

その後、交流の時間が設けられ、長生地域の「会」や美術家の「会」などがそれぞれの取り組みを紹介しました。

《アピール》

新たな運動の高まりの上に 全国交流集会の成功を

安倍内閣の発足いらい、日本国憲法、とりわけその9条を変えようとする動きは、いちだんと激しさを増しています。それは、安倍首相が2期6年の自分の任期内に改憲を実現する決意を表明したことにあわせ、自党内では2011年秋にも国民投票を実施するとの改憲に向けたタイムテーブルがつくられていることにもあらわれています。

この動きが、アメリカの行う戦争に日本を巻き込むものであることは、ますます明らかとなっています。安倍首相はそのため、憲法の改定以前にも集団的自衛権の行使にさらに踏み込むための憲法解釈の変更を企てています。

しかし、こうした動きに対する国民の不安、憤りも急速に広がりつつあります。それは各種世論調査において、共通して、9条の改定に反対する世論が、9条を改定すべきとする世論を上回り、その差が年々拡大していることにもあらわれています。改憲をめざす勢力は、この国民世論や、そうした世論をつくりだすことに力を発揮している「九条の会」を敵視し、これを切り崩すための大キャンペーンを展開しようとしています。

私たちは、憲法9条を守るという国民世論を広げる運動がさらに大きく発展することを願っています。そのため、すでに今秋11月24日(土)には第2回全国交流集会を開くことを決めています。私たちは、この交流集会を成功させるため、全国の地域・職場・分野の「会」が、以下のような取り組みを強め、その豊かな経験を交流集会の

改憲派が「九条の会」に対抗意識

1955年に結成された自主憲法期成議員同盟は、3月、「新憲法制定議員同盟」と衣替えし、新会長に中曽根康弘氏を選びました。その総会における意見交換のなかでは、「護憲派の運動(例えば9条の会)が盛んになっているので、是非当議員同盟が中心になってこれに対抗する運動を」との意見が出たと紹介されています。

「民間憲法臨調」(「21世紀の日本と憲法」有識者懇談会)が「護憲グループ『九条の会』」を特定の政党と結びつけた形で歪曲して紹介するなど、「九条の会」が彼らの企ての前にたちふさがっていることを自らかにしています。

場にもちよることをよびかけます。

①「九条の会」アピールへの賛同をさらに圧倒的なものへと広げ、改憲の発議をも断念させるものとするため、地域、職場、分野の「会」を、文字どおり思想や信条等の違いを超え、さらに無数に結成しましょう。

②9条擁護の世論を切りくずすためのさまざまなキャンペーンを跳ね返すために、地域や職場の草の根で、日本国憲法、とりわけその9条がもつ先駆的な価値についての学習を深め、これを生かすために何が必要かの議論をまきおこしましょう。

③無数に生まれている世論や運動を広げているすぐれた経験に学び、それをお互いの運動に生かすため、地域レベル、都道府県レベルでも大いに交流しあい、それぞれの運動をさらに豊かなものにしていきましょう。

2007年5月26日 九条の会